



秋田市発展の 原動力！ 成長戦略

平成29年3月24日、「第2期秋田市
中心市街地活性化基本計画」が
内閣総理大臣認定を受けました！

人口減少傾向にあつても、都市としての持続的な成長や発展をめざすため、限られた財源の有効活用を図り、秋田市の総合計画「新・県都『あきた』成長プラン」の5つの成長戦略に位置づけた事業へ予算を重点配分しました。

上段でもおなじ事業を、下段では新規事業を中心に詳しく紹介します。

【○】新規事業 【○】継続事業
*金額は千円以下四捨五入。
事業名(○内の太字は、継続事業の中でも新たに行う事業名です)。

戦略1 地域産業の振興と雇用の創出 64億578万3千円(全40事業)



- 新規就農支援事業▶3千816万円
(移住就農者営農開始支援事業)
- 農商工連携ビジネス支援事業▶754万円(今秋開催予定の(仮称)あきたスウィーツフェスタへの支援)

- 園芸作物価格補償事業▶166万円
- 園芸作物販売促進支援事業▶259万円
- (タリアPR活動)

- 県・市連携文化施設整備推進経費▶6千238万円
- (仮称)あきた芸術祭検討経費▶576万円

- 首都圏等修学旅行誘致事業▶1千578万円
- オール秋田「食と芸能」大祭典開催経費▶1千500万円
- スポーツホームタウン推進事業▶3千325万円

- ホストタウン交流事業▶3千65万円
- 中心市街地優良建築物等整備事業費補助金▶9千870万円
- 市民の座1230ミニコンサート開催経費▶30万円



戦略2 芸術文化・スポーツ・観光に よる都市の魅力向上 6億2千412万円(全24事業)

- 中心市街地商業集積促進事業▶1億9千967万円(詳細は8頁に)
- 都市・農村交流促進事業▶421万円(企業などの農業体験誘致)
- アンダー35正社員化促進事業▶6千万円
- 秋田港コンテナ航路開設促進事業▶1千714万円

気になる事業を ワンポイント解説



★園芸作物価格補償事業

農協や全農を通じて共同出荷した園芸作物(ねぎ・タリア)の市場価格下落対策として、県・全農・農協・市などからの負担金を財源とする補助金を生産農家に交付します。

★タリアPR活動

秋田駅などに展示するとともに、首都圏でPR活動を行います。

★移住就農者営農開始支援事業

県外から秋田市へ移住し、新たに農業経営を開始する若手農業者を育成するため、戦略作物導入などに必要な経費を支援します。

★アンダー35正社員化促進事業

若者の安定した雇用拡大を図るため、35歳未満の非正規雇用者を正規雇用転換した企業へ、1人あたり年額20万円を3年間補助します。



★ホストタウン交流事業

2020年東京オリンピック・パラリンピックの「ホストタウン交流計画」に基づき、フィジー共和国ラ

グビーチームの事前合宿誘致を推進するため、中学生選抜ラグビーチームの派遣など、スポーツと文化交流を図ります。

また、マレーシア・バドミントン代表チームとの交流を通じてホストタウン登録をめざします。

★中心市街地優良建築物等整備事業費補助金

中心市街地に優良建築物として整備される多世代共生型の共同住宅について、民間事業者に対して整備に係る費用を補助し、中心市街地への居住を促します。

★市民の座1230ミニコンサート開催

市役所を親しまれる芸術文化の発信拠点にするため、1階市民の座でミニコンサートを開催します。



今年も中心市街地が熱い！

これが秋田だ！ 食と芸能大祭典2017



5/26(金) 27(土) 28(日)

最新情報はホームページで
<http://www.koreaki.jp/>

事業名()内の太字は、継続事業の中でも新たに行う事業名です。

戦略3

豊かな自然をいかした
環境立市の確立
2億1千247万1千円(全16事業)

- 小型風力発電事業▼5万円
- ごみ減量対策事業▼2千311万円
- 生ごみ減量促進事業▼655万円(「オールあきた水切り月間」の実施)
- メガソーラー事業▼7千380万円



- 再生可能エネルギー導入支援事業(スマートシティ創エネ事業)▼2千314万円
- あきエコどんどんプロジェクト事業▼618万円

戦略4

子どもを生み
育てやすい社会づくり
7億7千650万円(全24事業)



- ワーク・ライフ・バランス推進事業▼480万円(秋田市版イクボス宣言プロジェクト)
- 第2子保育料無償化事業▼6千239万円
- 保育士人材確保推進事業▼719万円
- 産前・産後サポート事業▼295万円
- 妊娠期からの相談支援事業(秋田市版ネウボラ)▼661万円
- 妊産婦保健事業▼2億2千111万円

(多胎健康診査受診票を交付)

- 若者自立支援事業▼618万円(若者のためのしごと塾を開催)
- ふたりの出会い応援事業▼711万円(秋田結婚支援センター登録料の助成とヤングシネマ祭の開催)
- 不妊治療費助成事業▼5千831万円

戦略5

いきいきと暮らせる
健康長寿社会づくり
18億5千692万円(全20事業)

- ねんりんピック秋田2017開催経費▼1億8千421万円
- 健康づくり推進事業▼554万円(秋田市いいあんべえ体操の教室開催、あきた健康クラブ事業)▼400万円
- がん検診等事業▼2億2千505万円
- 予防接種事業▼6億8千342万円
- エイジフレンドリーシティ推進事業▼400万円
- 地域包括支援センター運営事業▼3億3千525万円
- 認知症対策推進事業▼820万円(認知症初期集中支援チームの設置)
- 高齢者生活支援体制整備事業▼1千394万円
- 歩くべあきた健康づくり事業▼156万円
- 高齢者コインバス事業▼1億2千318万円



★小型風力発電事業

向浜汚泥再生処理センター敷地内で小型風力発電事業を実施し、その情報を発信することで、温室効果ガス削減と地元事業者による風力発電事業への参入を促します。

★「オールあきた水切り月間」

8月を「オールあきた水切り月間」とし、市民が実践した水切りの方法を募集・紹介することで、生ごみの減量につなげます。



★あきエコどんどんプロジェクト

スマートフォンなどのアプリを活用して、環境配慮行動ポイント制度やごみ分別などの情報を発信することで、環境にやさしい取り組みへの市民参加を促します。
<http://www.ceeatita.org/akico/>

★イクボス宣言プロジェクト

イクボス講習会の実施やハンドブックの作成などによりイクボスを育成し、子どもを安心して生み育てられる環境整備につなげます。

★若者のためのしごと塾

社会参加に困難を有する若者の個々の課題に寄り添い、伴走型で支援する専任スタッフを置き、ビジネスマナーや各種資格の取得など、就労へのステップアップを図ります。

★ヤングシネマ祭

若者を対象に、「シングルズカフェ」(独身男女を対象とした出会いの場)と組み合わせたイベントとして開催します。

★あきた健康クラブ事業

幼児や保護者、働く世代、高齢者など、各世代に応じた食と運動の総合的な健康づくりセミナーを開催します。

★認知症初期集中支援チーム

認知症専門医の指導のもと、複数の専門職が認知症の疑いのある人に対し、訪問・観察・評価・家族支援など、早期支援を包括的・集中的に行います。



第30回全国健康福祉祭あきた大会 ねんりんピック秋田2017

開催日▶9/9(土)~12(火)
秋田市開催種目▶テニス・ゴルフ・弓道・水泳・サッカー・太極拳・ダンススポーツ